

毎週日曜発行
2024 5/19

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

仙台・青葉山にナノテラス誕生

ニュース



強力な光を使った実験が行われているナノテラス

仙台市青葉区の東北大青葉山新キャンパスに整備された世界最高レベルの性能を持つ放射光施設「ナノテラス」が4月1日、本格的に活動を開始しました。ナノテラスはどんな施設で、どんなことに役立つのかな。

◇(8面に関連記事)

ナノテラスは楽天モバ

イルパーク宮城と同じぐらいの大きさの建物の中に、一周349メートルの円形の加速器が入っています。



この巨大な装置は、光速近くまで加速した電子を曲げたときに生まれるX線「放射光」を使い、1メートルの10億分の1に当たるナノの単位で物質を観測できます。身近なものに例えると、ナノは髪の毛の太さの10万分の1に相当します。

放射光は太陽光の10億

倍のとても強い光です。強い光を使ってもものすごく小さな世界を見ることができると、装置は「巨大な顕微鏡」とも呼ばれます。

研究は新たな発見にとどまらず、新しい薬や材料の開発をはじめ、工業、農業分野などでも新しい産業につながるのではないかと期待されています。このためナノテラスは研究機関だけでなく、企業からも注目を集めています。

ナノテラスのアイデアは、東日本大震災で東北を中心に国内が大きなダメージを受けたことをきっかけに生まれました。科学者たちが科学の力を使い、東北や日本を元気にしたいと考えたのです。建設工事は2019年3月に始まり、研究開始に向けて準備が進められてきました。

強い光で小さな世界見る

ナノテラスを運営する光科学イノベーションセンターの高田昌樹理事長は「最先端の科学技術を使い、仙台に居ながらにして世界と一緒に仕事ができる。将来、宮城の子どもたちにもこの施設を活用し、社会の課題を解決したり、新しい産業を興したり、幅広い分野で活躍してほしい」と話しています。



ナノテラスという名前は、10億分の1のナノと日本神話の天照大神に由来するよ。強力な光を使った研究の成果が、世界の学術や産業に実りをもたらしてほしいという願いが込められています。

ナノテラスという名前は、10億分の1のナノと日本神話の天照大神に由来するよ。強力な光を使った研究の成果が、世界の学術や産業に実りをもたらしてほしいという願いが込められています。

今週の注目ニュース

◇21日(火) リンドバーク翼の日
1927年のこの日、米国の飛行家リンドバークがニューヨークーフランス・パリ間をプロペラ機で飛び、大西洋単独無着陸飛行に成功しました。飛行時間は33時間半。眠気と闘いながら操縦したそうです。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 ナノテラスの仕組み

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ